

平成25・26年度

実践的防災教育総合支援事業報告



H26.11.26湖山西小学校避難訓練(3年社会見学 場所:久松公園)

鳥取市教育委員会

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震、その後の巨大津波では広い地域で甚大な被害が発生し、多くの人命が失われました。その中に多くの子どもたちがいたことは、学校現場に与えた衝撃は大きく、改めて学校防災のあり方を考え直すことになりました。また、学校教育が、児童生徒に災害から自らの命を守る力を育てる役割をより一層期待されることとなりました。

我が国は世界有数の地震国であり、世界で発生したマグニチュード 6 以上の大規模地震の 2 割が日本及びその近海で発生しています。また、東海地方や南海沖、関東地方などでは、巨大地震の可能性が高まっているなど、多様な自然災害が起こりうる国土に生活をしていることを自覚して生活していくことが必要です。

子どもたちには、起こりうる様々な自然災害から生きのびる力を育むことが必要です。学校における防災教育の推進は、危険を予知し、危険から回避する能力とともに、自らの命を守りぬくために主体的に行動する態度を育成することと考えています。

鳥取市教育委員会では平成 25 年に「鳥取市学校防災計画・マニュアル」を策定するとともに、各学校においては地域性を反映した学校防災マニュアルの見直しや改善を行い、防災教育の実践や避難訓練の工夫・改善を行っているところです。また、防災教育の取組を児童生徒の発達段階に応じて教育課程に位置づけ、教育活動全体において体系的、計画的に実施するよう取組を始めたところです。

防災教育の取組を推進していくため、平成 25 年度・26 年度に実践的防災教育総合支援事業を県教育委員会より委託を受け、湖東中学校区の小・中学校で実践的な防災教育の取組・研究を進めてきました。学校においては、学校防災マニュアルの内容の見直しを行い、避難場所、避難経路等の設定を行うとともに避難訓練の工夫等について、派遣された外部の専門家から指導・助言をいただきました。また、防災教育の年間指導計画を作成するとともに、指導方法や教育手法の開発等にも専門家による指導・助言をいただきながら取組んできました。

今後は、2か年の成果を他の学校に広げていくとともに、防災教育を学校の教育課程にしっかりと位置付け、児童生徒等の発達段階や地域の実情に応じた効果的な取組を実践していくよう進めていきたいと考えております。

末尾となりましたが、本研究にあたり多大なご協力をいただいた鳥取県教育委員会体育保健課、鳥取市学校防災教育実践委員会委員の皆様、実践協力校並びに関係の方々に、心から感謝申し上げます。

平成 27 年 2 月

鳥取市教育委員会

目 次

I 実践的防災教育支援事業の概要 ······ 1

1 事業概要 ······	1
2 実践研究の取組 ······	1

II 実践協力校の学校防災教育の取組 ······ 3

1 賀露小学校 ······	3
2 湖山小学校 ······	10
3 末恒小学校 ······	16
4 湖山西小学校 ······	22
5 湖東中学校 ······	27

III 取組の成果と課題 ······ 33

1 取組の成果 ······	33
2 今後の課題 ······	34